

# 平成 28 年度

## 第 7 回（10 月）教育委員会定例会 会議録

日時：平成 28 年 10 月 26 日(金) 午後 2 時 55 分～午後 5 時

場所：村民センター小会議室

<出席者>

教育長	清水 閣成
職務代理人	三澤 久夫
教育委員	清水 道直
教育委員	林 百代
教育委員	出羽澤 和子

(事務局)

教育次長	藤澤 隆
学校教育係長	宮下 裕司
社会教育係長	西堀 英幸
学校教育係（記録者）	伊藤 泰子

以上 9 名

### 1. 開会

### 2. 教育委員長あいさつ

会議録作成者を指名（伊藤泰子）

### 3. 報告・確認事項

#### (1) 平成 28 年度後半の取り組みについて

<教育長>

資料1「平成 28 年度 後半の取り組み」に基づき、「1 より充実した教育委員（会）を目指して」、「(2)研修視察・学習会等の実施」、「(3)学校の分担」、「平成 28 年度後半の主な予定」、及び 12 月の「第 2 回総合教育会議」をどうしていくのか意見をいただきたい旨の説明がなされた。

<職務代理人>

今までは、必要に応じてやっていました。不登校の現状・学校施設関係の増改築等は、数年前からやっていました。

<教育長>

まったく様子が分かっていないものですから、皆様のご意見をいただきながら、進めていきたいと思えます。

<職務代理人>

以前、ふれた内容で、例えば学校給食センターについて進展があればですが。

<教育次長>

給食センターの設計については、プロポーザル（提案型）で行う計画。来年度以降の計画を理事者へ報告することになっている。南箕輪小学校について、現在の放課後児童クラブ室を図書館に、図書館を普通教室にという計画が、図

書館はそのままとして、放課後児童クラブ室を図工室と家庭科室にしていくことに変更となった旨等の説明がなされた。

<職務代理者>

今後、「こども館」の運営は、どういう理念のもとに運営をしていくのか意見交換をすることが必要だと思います。以前、視察をしました原村・富士見町は、子どもに寄り添った温かい運営をしていました。本村は、どのようにしていくのか。

<教育長>

子育て支援課・健康福祉課と連携をしていかなければなりませんね

<職務代理者>

子育て支援課は、どういう運営をめざしているのか。進んでいますか。

<教育次長>

職員配置等具体的に検討しています。

<職務代理者>

教育委員会の意見も反映して欲しいと思います。

<教育次長>

内容等の調整が必要と思います。

<教育長>

「第2回総合教育会議」はまだ不透明です。

<職務代理者>

年内は難しいと思います。

<教育長>

「こども館」は、子育ての拠点ということになります。その他、何かありますか。

<職務代理者>

保育園の視察は、午前中がよいと思います。臨機応変にということで、対応していけばよいと思います。

以上、質疑応答、説明及び意見が出された。

<教育長>

「平成28年度 後半の取り組み」は、大筋これでということをお願いしたいと思います。

## (2) 全国学力・学習状況調査結果について

<教育長>

資料2に基づき、各小中学校の状況説明がなされた。

<職務代理者>

三校が保護者向けに出した「全国学力・学習状況調査結果のお便り」を、次回の定例会にお願いしたいと思います。箕輪町では、数値の公表をした方がよいのではないかという意見を言われていました。検討が必要になると思います。

<教育長>

数値は公表しないということになっています。箕輪町の状況を確認したいと

思います。

<清水委員>

放課後学習指導で感じていますことは、小学校の勉強を教えなければならない生徒と、高いレベルの生徒と、大きな開きがあると思います。小学校の勉強が、本当に大切だと思います。

<教育長>

基礎となる小学校教育が、大切だと思いますね。

<職務代理者>

小学校の夏休み学習支援は、講師が見つからなくて残念でした。村長もおっしゃっていましたが、貧困による学力格差にならないように、予算と人材確保をお願いしたいと思います。長野市は、塾と提携しているようです。

<教育長>

やり方ですね。いただいた意見を含めて考えたいと思います。

<教育次長>

小学校の夏休みの件ですが、講師がいればよいのですが。予算だけ計上してもということになります。

<教育長>

当然、概略は作っておく必要はありますよね。

<林委員>

中学校の放課後学習は、高校生が講師として入っているんですね。

<職務代理者>

小学校へ入ることは、放課後児童クラブもありますので難しいと思います。

<教育長>

ありがとうございました。来月のテーマにしたいと思います

以上、質疑応答、及び意見が出された。

### (3) 教育大綱の共有について

<教育長>

資料3に基づき、南箕輪村教育大綱について説明がなされた。

<職務代理者>

第5次総合計画のダイジェスト版ということで、抽象的な面もあります。本村は伊那市を参考にしましたが、市町村によっていろいろなスタイルがあります。

<出羽澤委員>

質問ではありませんが、中学校は不登校が増えています。今後、どうしていくべきなのか。家庭環境等いろいろな問題があると思いますが、不登校をなくしていく取り組みが必要だと思います。

<職務代理者>

不登校の問題、学力向上が挙げられると思います。学校は、もっと深刻に捉えて欲しいと思います。視察は、そういった観点を踏まえての視察にさせていただきたいですね。上伊那は、傾向として不登校が多いと思います。

などの意見が出された。

(4) 保育園児の推移について

＜教育長＞

資料 4 に基づき、「村全体の園児数の推移」、「南原保育園の園児数の推移」について説明がなされた。

(5) 子どもたちへの支援をめぐる状況について

＜教育長＞

会議資料 5 に基づき、南箕輪村の支援保育士の状況について説明がなされた。

(6) 平成 28 年度長期欠席、いじめ等の状況について

＜教育長＞

会議資料 6 に基づき、各学校の状況について説明がなされた。

(7) 学校の魅力と課題について

会議資料 7 に基づき、各学校の状況について説明がなされた。

＜林委員＞

障がい名の用語説明をお願いします。

＜教育長＞

「ADHD」は「注意欠陥多動性障がい」、「ASD」は「自閉症スペクトラム・アスペルガー症候群」、「ODD」は「反抗性挑戦性障がい」です。

以上、説明及び質疑応答がなされた。

(8) 県市町村教委連絡会研修について

＜教育長＞

分散会ごとに報告をお願いします。

＜清水委員＞

第 1 分散会：中野教育委員会の発表。

研究協議題の視点：「学校現場の課題や主体性を支える教育委員会のかかわり」サブテーマ：「夢をもち、未来にはばたくキャリア教育の推進をめざして」。教育大綱の 5 つの柱は、①「信州なかの」ふるさと学習の推進②地域が支え、地域に学ぶ生涯学習の推進③時代に応じた魅力ある学校教育の推進④夢をもち、未来にはばたくキャリア教育の推進⑤豊かな心、健やかな体、確かな学力を向上させるため、安心して学べる教育環境の充実。教育委員会として学校現場への支援ということで、キャリア教育支援協議会の立ち上げをしているようです。年 2 回の会議を通して、受け入れ事業所の開拓を進めていくようです。また、職場体験学習に向けて「自己紹介書」の内容を提案。大きな特徴として事業所の方からの一言を記入する欄を設けたようです。南信では、すでにやっていると思います。「ふるさと job セミナー」の開設は、南箕輪村でもやっていけばよいと思いました。

南箕輪村では、キャリア教育推進協議会を産学官からの 23 名で構成し、今年度 2 回の会議を持ちました。子どもたちが郷土に誇りを持ち、将来について希望をもてる手助けをしたいと熱い討論がなされているところですが、どういった方向付けをしていくのかが課題だと思います。との報告がなされた。

＜林委員＞

第2分散会：山ノ内町教育委員会の発表。

テーマ：「人口減少社会の中で次世代を担う児童生徒に生きる力を育む教育の充実」。ユネスコエコパーク（自然と人間社会の共生）を活用したESDを一番に掲げていました。また、国際化への対応として、スキー・スノーモンキーなど、観光地の国際化を検討しているようです。平成25年には、小学校へALTを導入しているようで、一週間に一時間の英語活動をしているようです。

人口減少ということで、筑北村は2小学校が統合、佐久市は4小学校が統合、中野市は2小学校が統合をしているそうです。地域のエゴ、祖父母の反対、どの場所にするか等々、地域住民の理解を得るのに苦労されたようです。

中川村では、4月に新任先生の研修として、村の中を案内し、村を知ってもらう取り組みをされているようです。先生たちが地域へ出て行くことは、大切なことだと思います。

野沢温泉村では、統合する学校すらない地域もあるようです。どんなに小さくなくても、それぞれの教育理念に基づいて子どもをどう育てるか、教育のあり方を地域の人と語る必要あると思います。地域住民の協力と理解が大切で、地域と学校は密接な関係にあることが大切だと感じました。との報告がなされた。

<教育長>

第4分散会：松本市教育委員会からの発表。

テーマ：「すべての子どもにやさしいまちづくりをめざして 人と人との関係づくりを基盤にした『学都松本』推進の取り組み」。今後の課題、「(1)庁内他部局との連携のあり方 (2)子どもにとって本当に必要な支援とは (3)これからの教育委員会の役割とは」が、挙げられていました。

松本市では、就学援助費現行6月支給を3月に前倒ししているようです。村でも可能かどうか検討をしていきたいと思います。との報告がなされた。

<職務代理人、出羽澤委員>

第5分散会：下條村教育委員会からの発表。

ふるさと愛を育む教育～「しもじょっ子カッセイカ会議」の構築と村独自の教育支援で村に誇りと愛着を持てる教育の推進～。感心したのは、村独自の教育支援ということで、就学支援として、教育ローンの利子・保証料の全額補てん、入学祝品の贈呈ということで、小学一年生には3万円、中学一年生には6万円の村内商店で使える商品券の贈呈があるようです。

中学校国際交流事業は、グアム島へ3泊4日で、一人16万円の半額補助があり、学校給食費の70%補助を全員が受けられるそうです。人口が少ない村だからこそのところはありますが。「故郷に愛着を持たせるには」ということで、意見交換が行われました。

坂城町では、鮭はなぜ生まれた川にもどるのか？川の水の成分をすり込む。坂城町では保育園・小学校低学年のうちに千曲川で遊ばせる取り組みを行っているそうです。ふるさとの川で十分遊ばせて、自然に親しむことはとても大切なことだと思います。

軽井沢町では、高校進学は群馬県の私立に行く傾向にあるようです。阿智村

でも、希望の子どもを対象に川へ連れ出しているようです。南箕輪村でも教育委員会が音頭をとって、夏休みに一日研修会をやってもいいと思いました。との報告がなされた。

(9) 条例の改正について

＜教育次長＞

会議資料 8 に基づき、「教育長の職務専念義務の特例に関する条例」について、新教育長は特別職であるため、一般職とは別に職務専念義務の免除等の特例を定めることが必要なこと。「南箕輪村要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱」・「南箕輪村特別支援教育就学奨励費支給要綱」についての一部改正、について説明がなされた。

【意見なし】

(10) 各委員から課題・要望などについて

【全委員特になし】

(11) 児童・生徒数について

＜教育長＞資料 9 に基づき、10 月 1 日現在の児童・生徒数について報告がなされた。

(12) 事故報告について

＜教育長＞

会議資料 10 に基づき報告がなされた。

(13) 10 月事業報告・11 月事業計画について

＜教育長＞

資料 6 に基づき、概要報告がなされた。

＜職務代理者＞

村民文化講演会は、毎年、開催されることになったんですか。

＜教育次長＞

はい、そうです。

(14) 11 月定例会日程について

＜教育長＞

11 月 25 日（金）午前 9 時 30 分に現地集。生涯学習施設・こども館の現地確認の後、キャリア教育の学習会を行いたい。

定例会は午前 10 時 30 分からということをお願いします。

【了承】

以上